

平成25年度 地域連携研修予定表

開催日	研修名 / 研修のねらい	対象者	会場	研修項目 / 内容
5月30日	<p>介護スタッフ実践力向上研修（基礎）</p> <p>初任者向けの研修を1日のコースに短縮しました。2日間のカリキュラムや、宿泊が伴う研修には参加が難しい方なども参加しやすい研修となっています。これまでの介護実技の見直しをしたい方や、採用後間もない中途職員の方の基礎力向上を図ります。</p>	<p>経験年数が概ね2年未満の初任者</p>	<p>特別養護老人ホーム 幸豊園</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症の理解と本人・家族支援 認知症に関する基礎知識について学び、適切な対応やご本人、ご家族に対して出来ることについて確認し、日々の実践につなげます。 ・リスクマネジメントと緊急時の対応 職員として、日常生活場面で生じうる高齢者の抱えるリスクを理解し、業務を進める中でリスクマネジメントを具体的に展開していく技能、考え方を身につけます。 ・基礎医療知識 高齢者の身体的、精神的な特徴について理解し、他の専門職や医療機関との連携に必要な知識や視点を身につけ、利用者の健康な生活を支えていくことを目指します。 ・高齢者虐待防止について考える 高齢者虐待や不適切なケアの問題への対策の基本は、背景となる要因を分析し、組織的な取組みを行い、その中で職員個々人が必要な役割を果たすことです。高齢者虐待に関する基礎知識を学び虐待防止に必要な役割を担うための視点について考えます。
6月12日～13日	<p>個別ケア（ユニットケア）研修</p> <p>入居施設では、入居者の個別性を重んじたケアが重要です。一人ひとりが違う歴史を過ごし、異なった価値観を持っています。当然ですが、施設で暮らすことになってもそれは変わりません。全ての職員が、入居者の“暮らし”を意識し、入居者の心地よい生活を支援できるよう必要な知識を身につけます。</p>	<p>ユニットケア施設に勤務している職員または勤務予定の職員</p>	<p>高齢者ケア研修センター 財田の杜</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ユニットケアの理念と意義 そもそもユニットケアの理念(目指すべきところ)とはなんなのか。原点から基本を学び、入居者や家族、職員にとってのユニットケア導入の意義を考える。 ・「今までの暮らしを続けてもらえるような暮らしをつくる」Ⅰ 高齢者が施設にて日常生活を営む事を支援する為のポイントを学ぶ。起きてから寝るまでの1日の生活の流れに沿って場面ごとの事例や演習を通して学ぶ。又、自施設においてのケアを通して、入居者の1日の生活の流れを演習やグループワークを通してユニットケアの中でどうあるべきかを検討し学ぶ。 ・「今までの暮らしを続けてもらえるような暮らしをつくる」Ⅱ 高齢者が施設にて日常生活を営む事を支援する為のポイントを学ぶ。起きてから寝るまでの1日の生活の流れに沿って場面ごとの事例や演習を通して学ぶ。又、自施設においてのケアを通して、入居者の1日の生活の流れを演習やグループワークを通してユニットケアの中でどうあるべきかを検討し学ぶ。 ・「入居者が自分の住まいと思えるような環境をつくる」 高齢者を支える環境やその設備おいての留意点について学ぶ。建物の理論や機能といった高齢者施設での環境や暮らしの場をつくる考え方を学ぶ。
6月23日	<p>介護スタッフ実践力向上研修（通所・訪問）</p> <p>通所介護事業所や訪問介護事業所などの介護スタッフを対象とした研修内容です。ご家族との関わりで必要なマナーや、在宅での緊急時を想定した演習等も企画しています。また、高齢者虐待についても触れ、養護者からの虐待のサインなどについても学びます。利用者の望む生活が継続できるよう必要な支援について考えます。</p>	<p>通所・訪問系事業所職員</p>	<p>特別養護老人ホーム 幸豊園</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症の理解と本人・家族支援 認知症に関する基礎知識について学び、適切な対応やご本人、ご家族に対して出来ることについて確認し、日々の実践につなげます。 ・サービスマナーとコミュニケーション ご本人やご家族と接する中で、必要な言葉遣いや気配りについて改めて確認するとともに様々な場面で必要となるコミュニケーションの技法について学び、より好感度の高い対応を目指します。 ・リスクマネジメントと緊急時の対応 高齢者や障がい者の在宅生活を支えていく中で生じるリスクの確認とその対応について考えます。また体調不良等により急を要する対応について事例なども交えながら学びます。 ・高齢者虐待防止について考える 高齢者虐待や不適切なケアの問題への対策の基本は、背景となる要因を分析し、組織的な取組を行い、その中で職員個々人が必要な役割を果たすことです。高齢者虐待に関する基礎知識を学び、虐待防止に必要な役割を担うための視点について考えます。

平成25年度 地域連携研修予定表

開催日	研修名 / 研修のねらい	対象者	会場	研修項目 / 内容
6月26日～27日	<p>介護スタッフ実践力向上研修 (中級)</p> <p>介護職員として事業所の中核を担う中堅職員向けの研修です。後進の指導や他職種との連携もこれまで以上に強く求められるのではないのでしょうか？また、ご家族との会話でも、誤解を受けないように丁寧な説明ができなければなりません。あまり意識しないかもしれませんが、接遇などのマナーも介護職員には大切な要素ですね。この機会に普段の仕事を振り返り、介護の”専門性”を確認してみませんか？</p>	<p>経験年数が概ね2年～5年の中堅職員</p>	<p>高齢者ケア研修センター 財田の杜</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・OJTの手法 中堅職員として、後輩及び実習生等の教育、指導についての基本について学び、職場での後進の育成に活用することを狙っています。 ・口腔ケアの意義と理解 高齢者の口腔ケアについて正しく基礎知識を学び、演習として歯ブラシ・スポンジブラシ等の清掃用具を使用した職場で実践するための活用方法を学びます。 ・介護保険制度の理解 各種制度について学び、法令の遵守及び法令によりケアワーカーに求められている役割について理解を目的とします。 ・BPSD軽減につながるひもときシートの活用 困難や課題と考えていることを明確にし、事実に基づいた情報の整理をしながら本人の求めるケアを導き出していくひもときシートについて演習を行いながら学びます。 ・課題解決と業務改善 利用者へのより良いサービス提供のため、普段より問題意識を持つための視点のポイントと、改善を図っていくための具体的な手法について学びます。 ・企画・提案の手法 職場の中堅職員として、ケアの質の向上や利用者の生活の質の向上、チームとしての力がアップするための方法を実例を通して学び、活用することを目指します。
7月17日～18日	<p>介護スタッフ実践力向上研修 (初級)</p> <p>この研修は、介護職員として経験年数が概ね2年未満の方を対象としています。介護職員として必要な心構えや倫理綱領に触れ「入居者や利用者本位の生活を実現するためにはどうすれば良いのか」というテーマについて、職員が主体的に考えられる力を習得するために必要な知識を学びます。</p>	<p>経験年数が概ね2年未満の初任者</p>	<p>高齢者ケア研修センター 財田の杜</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーションとチームワーク コミュニケーションとチームワークについて演習等を通して学びます。研修で学びを共にする受講生同士が積極的に関わり、学びがより深まることを目指します。 ・認知症の理解と本人・家族支援 認知症発症のメカニズム、中核症状、周辺症状について理解し、認知症高齢者への適切な対応について考えることで、日々の実践につなげることを目指します。 ・高齢者虐待防止について考える 高齢者虐待や不適切なケアの問題への対策の基本は、背景となる要因を分析し、組織的な取組を行い、その中で職員個人が必要な役割を果たすことです。高齢者虐待に関する基礎知識を学び、虐待防止に必要な役割を担うための視点について考えます。 ・リスクマネジメントと緊急時の対応 職員として、日常生活場面で生じる高齢者の抱えるリスクを理解し、業務を進める中で、リスクマネジメントを具体的に展開していく技能、考え方を身につけます。 ・苦情のとらえ方とその解決について 利用者や家族の権利意識が高まってきている中で苦情に対しての適切な対応が求められています。苦情に対応するための基本的な心構えや適切に対応するためのポイントについて学びます。 ・介護職のための病気と薬の基礎知識 高齢者に多い疾病等の特徴とケアのポイント、薬の基礎知識、副作用などについて学びます。 ・生活の流れに沿うケア・個別ケア ユニットケアの考え方をもとに、利用者一人一人の生活リズムに着目し、具体的にどのように個別ケアを行っていくかという視点について基本を学びます。

平成25年度 地域連携研修予定表

社会福祉法人幸清会・大滝福祉会

開催日	研修名 / 研修のねらい	対象者	会場	研修項目 / 内容
8月21日	<p>生活相談員研修</p> <p>入居施設や介護保険事業所の生活相談員は、事業所の中間管理的な業務ももちろんですが、その他請求業務や、運転業務など、多岐にわたる業務を的確に実施する能力が求められます。この研修では、職員への指導や後進の育成など、生活相談員に求められるスキルについて学びます。また、他の事業所の生活相談員との情報交換の機会としても活用できるよう企画しています。</p>	生活相談員	高齢者ケア研修センター 財田の杜	<ul style="list-style-type: none"> ・リーダーの育成 事業所の将来を担うリーダー又はそれに準じる立場の人材について、人材育成のあり方を確認する。 ・地域包括ケアシステムについて これから高齢者福祉施策では地域包括ケアシステムが重要とされています。地域包括ケアシステムの実現にむけた今後の取り組みについて考える。 ・相談援助技術 相談支援について振り返り、その上で利用者や家族と適切な関係を築くための方法について、演習を通して学びます。 ・家族支援 認知症の人やその家族も安心して暮らせる社会を目指し、家族会の活動を通して、家族支援の方法について学ぶ。
8月28日～29日	<p>介護スタッフ実践力向上研修（上級）</p> <p>介護職員の中心となり活躍されている方、または、その方と一緒に現場を牽引する立場にある方を対象とした研修内容です。新人の指導はもちろん、事業所全体の人材育成も視野に入れた活躍が期待されます。また、所属するチームのまとめりや業務改善にも積極的に介入し、質の高いサービスを提供できるよう働きかける必要があります。労働法規やそれに関する諸制度も意識しながら、円滑な業務遂行について考えましょう。</p>	経験年数が概ね5年以上の指導的立場にいる職員	高齢者ケア研修センター 財田の杜	<ul style="list-style-type: none"> ・リーダーシップとチームマネジメント 統一したケアのためにはチームとしての意思統一が不可欠となります。ここではチームアプローチの考え方や理論について理解し、自分が所属するチームのまとめ方について考えます。 ・人材育成 人材育成について考察を深め、自らの成長と事業所職員の人材育成について考えます。 ・リスクマネジメント 事業所での事故や苦情を防止するため、ヒヤリハットの生かし方や体制作り等、リスクマネジメントの考え方について学びます。 ・部門労務管理 各セクションでの勤務表作りなどを担当する立場として、労働基準法を踏まえて、適切な働き方についての基本を学び、日々の勤務についても見直す機会を持ちます。 ・プレゼンテーション リーダー又はそれに準じる立場として、業務改善やケアの質の向上に向けて、上司や同僚へ提案をしたり、実際に取り組んだ成果を発表するなど、どのようにまとめ発信していくかについて学びます。 ・事例検討の手法 ～インシデントプロセス法による事例検討～ 研修参加者が質問によって事例について明らかにし、原因と対策を考えていくインシデントプロセスによる事例検討の手法について学びます。
9月12日	<p>介護スタッフ実践力向上研修（基礎）</p> <p>初任者向けの研修を1日のコースに短縮しました。2日間のカリキュラムや、宿泊が伴う研修には参加が難しい方なども参加しやすい研修となっています。これまでの介護実技の見直しをしたい方や、採用後間もない中途職員の方の基礎力向上を図ります。</p>	経験年数が概ね2年未満の初任者	特別養護老人ホーム みたらの杜	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症の理解と本人・家族支援 認知症に関する基礎知識について学び、適切な対応やご本人、ご家族に対して出来ることについて確認し、日々の実践につなげます。 ・リスクマネジメントと緊急時の対応 職員として、日常生活場面で生じうる高齢者の抱えるリスクを理解し、業務を進める中でリスクマネジメントを具体的に展開していく技能、考え方を身につけます。 ・基礎医療知識 高齢者の身体的、精神的な特徴について理解し、他の専門職や医療機関との連携に必要な知識や視点を身につけ、利用者の健康な生活を支えていくことを目指します。 ・高齢者虐待防止について考える 高齢者虐待や不適切なケアの問題への対策の基本は、背景となる要因を分析し、組織的な取り組みを行い、その中で職員個々人が必要な役割を果たすことです。高齢者虐待に関する基礎知識を学び虐待防止に必要な役割を担うための視点について考えます。

平成25年度 地域連携研修予定表

社会福祉法人幸清会・大滝福祉会

開催日	研修名 / 研修のねらい	対象者	会場	研修項目 / 内容
9月26日～27日	介護事業所管理者研修 施設・事業所の管理者には、各種法制度や、政策の動向、職員の労務管理など、幅広い知識の習得が不可欠です。ここでは、事業運営のリスク管理の視点から、法人・事業所の理念の伝達や介護事故防止、ハラスメントの防止などを学びます。他事業所の管理者との情報交換の場としてもご活用ください。	施設・事業所の管理者	高齢者ケア研修センター 財田の杜	<ul style="list-style-type: none"> ・介護事業の適切な運営について 集団指導等による介護給付等対象サービスの取り扱いや、報酬の請求に関する事項について再確認していく。 ・適切な労務管理に向けて <ul style="list-style-type: none"> ・適切な労務管理について ・セクハラ、パワハラについて ・リスクマネジメントの徹底 ～苦情と事故～ 介護事業所として起こりうるリスクをマネジメントしていくための具体的な手法について学びます。 ・組織の運営と管理 介護事業所管理者としての組織運営及び管理に必要な能力、知識、考え方について学びます。
9月27日	高齢者虐待防止研修 高齢者虐待は、高齢者の人権を著しく侵害する行為です。国の報告では、虐待の発生件数は年々増加傾向にあり、それぞれの事業所単位で発生防止に向けた取り組みを行うことがとても重要です。また、高齢者虐待は養護者を取り巻く環境等も大きな発生要因とされており、養護者への積極的な支援も重要な要素であると考えられています。この研修では、近年の虐待の発生状況を概観し、事例等を交えながら高齢者虐待防止について学びます。	高齢者介護に携わるすべてのスタッフ	高齢者ケア研修センター 財田の杜	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症の理解と対応 認知症という病気やその心理について正しく理解する。 認知症に伴う行動・心理症状を理解するうえで、利用者個々の心身状態を丁寧にアセスメントし、個々の状況に即したケアについて考察します。 ・高齢者虐待の基本的な理解とその防止について考える。 高齢者虐待防止法の施行されたからも虐待の発生件数は年々増加傾向にあります。介護に携わるスタッフとして知っておかなければならない高齢者虐待防止の正しい知識を改めて理解を深めます。
10月2日～3日	ケアマネージャー資質向上研修 ケアマネージャーには、サービス利用者の心地良い生活を担保するために、尊厳やQOLを意識して業務に向う姿勢が強く求められます。そのためには、成年後見制度や権利擁護事業等の基礎知識は欠かせません。また、適切なサービス提供には、精神疾患についての知識の習得も重要です。基本的な精神疾患の症状とその対応方法について学びます。	ケアマネージャー	高齢者ケア研修センター 財田の杜	<ul style="list-style-type: none"> ・若年性認知症の人の支援の実際と取り組み 3年間に渡り行った北海道若年性ケア・モデル事業報告書をもとに生活支援に必要な要素や地域で暮らしていくときに必要な支援のあり方などについて学びます。 ・意欲につながるケアプラン作成 予め提出いただいたケアプランを使用して作成のポイントについて触れ、より利用者本位のプラン作成についての考え方を改めて学びます。

平成25年度 地域連携研修予定表

開催日	研修名 / 研修のねらい	対象者	会場	研修項目 / 内容
10月9日～10日	<p>介護スタッフ実践力向上研修 (中級)</p> <p>介護職員として事業所の中核を担う中堅職員向けの研修です。後進の指導や他職種との連携もこれまで以上に強く求められるのではないのでしょうか？また、ご家族との会話でも、誤解を受けないように丁寧な説明ができなければなりません。あまり意識しないかもしれませんが、接遇などのマナーも介護職員には大切な要素ですね。この機会に普段の仕事を振り返り、介護の”専門性”を確認してみませんか？</p>	<p>経験年数が概ね2年～5年の中堅職員</p>	<p>高齢者ケア研修センター 財田の杜</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・OJTの手法 中堅職員として、後輩及び実習生等の教育、指導についての基本について学び、職場での後進の育成に活用することを狙っています。 ・口腔ケアの意義と理解 高齢者の口腔ケアについて正しく基礎知識を学び、演習として歯ブラシ・スポンジブラシ等の清掃用具を使用した職場で実践するための活用方法を学びます。 ・介護保険制度の理解 各種制度について学び、法令の遵守及び法令によりケアワーカーに求められている役割について理解を目的とします。 ・BPSD軽減につながるひもときシートの活用 困難や課題と考えていることを明確にし、事実に基づいた情報の整理をしながら本人の求めるケアを導き出していくひもときシートについて演習を行いながら学びます。 ・課題解決と業務改善 利用者へのより良いサービス提供のため、普段より問題意識を持つための視点のポイントと、改善を図っていくための具体的な手法について学びます。 ・企画・提案の手法 職場の中堅職員として、ケアの質の向上や利用者の生活の質の向上、チームとしての力がアップするための方法を実例を通して学び、活用することを目指します。
11月10日	<p>介護スタッフ実践力向上研修 (通所・訪問)</p> <p>通所介護事業所や訪問介護事業所などの介護スタッフを対象とした研修内容です。ご家族との関わりで必要なマナーや、在宅での緊急時を想定した演習等も企画しています。また、高齢者虐待についても触れ、養護者からの虐待のサインなどについても学びます。利用者の望む生活が継続できるよう必要な支援について考えます。</p>	<p>通所・訪問系事業所職員</p>	<p>ふる里の丘総合福祉館</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症の理解と本人・家族支援 認知症に関する基礎知識について学び、適切な対応やご本人、ご家族に対して出来ることについて確認し、日々の実践につなげます。 ・サービスマナーとコミュニケーション ご本人やご家族と接する中で、必要な言葉遣いや気配りについて改めて確認するとともに様々な場面で必要となるコミュニケーションの技法について学び、より好感度の高い対応を目指します。 ・リスクマネジメントと緊急時の対応 高齢者や障がい者の在宅生活を支えていく中で生じるリスクの確認とその対応について考えます。また体調不良等により急を要する対応について事例なども交えながら学びます。 ・高齢者虐待防止について考える 高齢者虐待や不適切なケアの問題への対策の基本は、背景となる要因を分析し、組織的な取組を行い、その中で職員個々人が必要な役割を果たすことです。高齢者虐待に関する基礎知識を学び、虐待防止に必要な役割を担うための視点について考えます。

平成25年度 地域連携研修予定表

開催日	研修名 / 研修のねらい	対象者	会場	研修項目 / 内容
11月13日～14日	<p>介護スタッフ実践力向上研修 (初級)</p> <p>この研修は、介護職員として経験年数が概ね2年未満の方を対象としています。介護職員として必要な心構えや倫理綱領に触れ「入居者や利用者本位の生活を実現するためにはどうすれば良いのか」というテーマについて、職員が主体的に考えられる力を習得するために必要な知識を学びます。</p>	経験年数が概ね2年未満の 初任者	高齢者ケア研修センター 財田の杜	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーションとチームワーク コミュニケーションとチームワークについて演習等を通して学びます。研修で学びを共にする受講生同士が積極的に関わり、学びがより深まることを目指します。 ・認知症の理解と本人・家族支援 認知症発症のメカニズム、中核症状、周辺症状について理解し、認知症高齢者への適切な対応について考えることで、日々の実践につなげることを目指します。 ・高齢者虐待防止について考える 高齢者虐待や不適切なケアの問題への対策の基本は、背景となる要因を分析し、組織的な取組を行い、その中で職員個人が必要な役割を果たすことです。高齢者虐待に関する基礎知識を学び、虐待防止に必要な役割を担うための視点について考えます。 ・リスクマネジメントと緊急時の対応 職員として、日常生活場面で生じうる高齢者の抱えるリスクを理解し、業務を進める中で、リスクマネジメントを具体的に展開していく技能、考え方を身につけます。 ・苦情のとらえ方とその解決について 利用者や家族の権利意識が高まってきている中で苦情に対しての適切な対応が求められています。苦情に対応するための基本的な心構えや適切に対応するためのポイントについて学びます。 ・介護職のための病気と薬の基礎知識 高齢者に多い疾病等の特徴とケアのポイント、薬の基礎知識、副作用などについて学びます。 ・生活の流れに沿うケア・個別ケア ユニットケアの考え方をもとに、利用者一人一人の生活リズムに着目し、具体的にどのように個別ケアを行っていくかという視点について基本を学びます。
11月26日～27日	<p>介護スタッフ実践力向上研修 (上級)</p> <p>介護職員の中心となり活躍されている方、または、その方と一緒に現場を牽引する立場にある方を対象とした研修内容です。新人の指導はもちろん、事業所全体の人材育成も視野に入れた活躍が期待されます。また、所属するチームのまとまりや業務改善にも積極的に介入し、質の高いサービスを提供できるよう働きかける必要があります。労働法規やそれに関する諸制度も意識しながら、円滑な業務遂行について考えましょう。</p>	経験年数が概ね5年以上の 指導的立場にいる職員	高齢者ケア研修センター 財田の杜	<ul style="list-style-type: none"> ・リーダーシップとチームマネジメント 統一したケアのためにはチームとしての意思統一が不可欠となります。ここではチームアプローチの考え方や理論について理解し、自分が所属するチームのまとめ方について考えます。 ・人材育成 人材育成について考察を深め、自らの成長と事業所職員の人材育成について考えます。 ・リスクマネジメント 事業所での事故や苦情を防止するため、ヒヤリハットの生かし方や体制作り等、リスクマネジメントの考え方について学びます。 ・部門労務管理 各セクションでの勤務表作りなどを担当する立場として、労働基準法を踏まえて、適切な働き方についての基本を学び、日々の勤務についても見直す機会を持ちます。 ・プレゼンテーション リーダー又はそれに準じる立場として、業務改善やケアの質の向上に向けて、上司や同僚へ提案をしたり、実際に取り組んだ成果を発表するなど、どのようにまとめ発信していくかについて学びます。 ・事例検討の手法 ～インシデントプロセス法による事例検討～ 研修参加者が質問によって事例について明らかにし、原因と対策を考えていくインシデントプロセスによる事例検討の手法について学びます。